

会 議 録

会議名 (審議会等名)	市役所さくら通り(市道市役所前通)道路改良検討会			
事務局 (担当課)	土木政策課 電話042-769-8374(直通)			
開催日時	平成27年2月17日(火) 14時30分~16時30分			
開催場所	相模原市役所 第2別館 3階 第3委員会室			
出席者	委員	10人(別紙のとおり)		
	その他	9人(中央土木事務所、中央区役所地域振興課、中央地域まちづくりセンター、商業観光課)		
	事務局	6人(土木政策課長、他5人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議題 (1) 整備の方針(案)について 3. その他 			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1. 開 会

2. 議事

(1) 整備の方針(案)について

整備の方針(案)について、事務局より説明。

- ・街路樹に関する方針
- ・歩道に関する方針
- ・自転車走行空間に関する方針
- ・側道に関する方針

主な意見

自転車道と歩道の境の段差については、20cmは高いのではないか。バリアフリーということを考慮すると、段差を付けずにラインを引く等視覚的分離の方が良いと思う。

また、側道と自転車道の境は構造物で分離するべきだと思う。

併せて、市民まつりのことも考えなければいけない。テントの設置や歩行者への影響を考慮すると、境のつけ方はまだ検討の余地があると思う。

通常時と市民まつり開催時とでどちらに比重を置くかはっきりしたほうがいい。市民まつりは1年のうちに2日間だけである。

境はライン等で視覚的分離でも良いと思う。

国道16号を見ても、自転車道と歩道の境に段差があり、通行区分が明確にわかって、自転車、歩行者はそのスペースを通る。その方が安全面を考えたら良いと思う。

桜並木の部分には、現在中央小学校の児童や造園組合が花を植えている花壇がある。その花壇を今後どうしていくのか(これを機会になくしてしまうのか、さらに頑張っってやりたいのか)という意見をぜひ聞いてほしい。

「電線共同溝を整備し、電線類を地中化することで歩行者空間の充実を図る」とあるが、電線を地中化するのか。

現在ケヤキと同じ列に電柱があり、そこに電線が通っている。電線を地中化することによって、最終的に電柱、電線のない道に整備していく計画である。

段差がない方法で整備した方が良いが、安全を考えると境に段差をつけて、自転車の走行空間を物理的に分離した方が良いと思う。10cm程度でも十分仕切

りにはなるし、段差が低い方が市民まつりにも支障にならないのではないか。

段差は低いと余計危ない。段差が必要ならば、高くしてわかりやすくした方が安全だと思う。市民まつりはそれに対応させていくしかないと思う。

A（側道をなくす区間）とB（側道を残す区間）の断面が混在している点に関しては、できる限りA（側道をなくす区間）を増やしていけないのか。

車道・歩道・側道の色分けはしないのか？

まだ整備方針の検討段階なので、そこまでは考えていない。今後の基本計画の段階で、具体的な構造等について検討していくことになる。

A（側道をなくす区間）とB（側道を残す区間）が混在しているのは、非常に美しくないと思う。相模原署前から横山二丁目の交差点までは同じ断面になると思っていた。

さまざまな条件があるとは思うが、人が集まる空間にするべきだと思う。

側道を残したイメージ図の中で、側道の中の少し広い空間は駐車スペースだという説明があったが、駐車ではなく待避スペースというイメージである。またイメージ図では、車が2台通れるように見えるが、3.5mでは2台は通れない。したがって側道には駐車できなくなるということである。

側道をなくして歩道空間を充実させるように全体が整備されたら、街路はとも価値のあるものになるし、商店が街路を利用したりできればすばらしい街になると思う。

自転車道か自転車レーンかについては、景観上自転車道の方が良いと思う。

相模原署前交差点から税務署入口交差点までの区間で側道がなくせるのであれば、税務署入口交差点から横山二丁目交差点までの区間もできなければおかしいと思う。B（側道を残す区間）の断面が出来てしまったら、何も変わらないように感じる。

検討区間全体をA（側道をなくす区間）で考えた方が良いと思う。

側道を全部なくした場合、20本程度の桜が切られるという話が前回の委員会に出ていた。市のシンボルとして残したいのは桜である。桜を切らない、残す方法を考えたいと思う。

沿道の敷地への乗入れを作る場合は自費工事で行うと思うが、街路樹を切る必要がある場合、事業者が負担して街路樹を他のところへ移植するのか？

消防署の通りのセブンイレブン建築の際には、桜の伐採は最小限に抑えることと、伐採した分は1本あたり苗木を2本植えるように指導した。

市の工事で桜を伐採した場合も苗木を植えるのか。そうならば、桜並木全体としては桜の数は変わらないのではないか。

今の桜の間隔はかなり密であるが、植える余地はあるのか？

維持管理方針では、適正な樹木間隔や隣接樹木の成長経過を見て植えることにしている。

市役所さくら通りの桜はあと何年くらいもつのか。

それはわからない。寿命は60年と言われているが、科学的な根拠はない。

検討区間1kmを同じような形で整備した方が街路としての価値が上がるのではないか。より魅力的な街路にしていく必要があると思う。

ここは商業地域であり、商業的価値や桜並木の保存と、街並の景観等さまざまなことについて考えていかないといけない。しかし、住んでいる人もおり、商業的価値について十分に認識されていない場合もある。

魅力的な街路を求めると、側道を全てなくす計画にするべきかもしれないが、さまざまな要素を考慮すると、現実的には非常に難しい。そこがこの事業の一番難しいところだが、目指すべきところをひとつ決めていかないといけない。

警察署のところは側道に面して車の出入りがあるが、車の出入りを側道に面していないところに変えて側道をなくすことはできないのか。まずは公共機関が率先して側道をなくすことを検討し、周辺住民を説得していく必要があるのではないか。

側道をなくすことは、できるところとできないところがある。大きな駐車場は側道に面していない方にも出入口があるところがある。側道からの出入口を閉鎖することができれば、今回の提案でB（側道を残す区間）になっている区間でも側道をなくすことができる。

自転車道か自転車レーンか、はっきりと決めた方がよい。側道をなくすか残すかは、周辺住民の理解を得る必要があり、桜並木の問題もあるので、もっと議論する必要がある。

側道が本当に必要なのか、本線から沿道の敷地に直接入るところを調べ、その結果桜並木がどれだけ保全できるか考えれば良いと思う。

検討する部分を決めることで、まずそこについて考え方が決まっていくのではないか。

例えば郵便局の脇のところは、「桜を切って、取付道路から側道を経由せずに直接本線に通した方がいいのか」というように一箇所に絞って議論していくのはどうか。

「事故が多いのか」、「大型車の出入りはどのくらいあるのか」、「どのくらいの車がそこを通過しているのか」などを調べる必要があるのではないか。

桜並木の横には縁石はないのか？

縁石は設ける形になる。

沿道の敷地への乗入れはまっすぐでなければいけないのか。桜を避けるようにクランク状の専用道でも良いのではないか。狭い側道というのは非常に魅力的だが、一台でも車が停まったら通れなくなる。そうなった場合はどうするか心配だ。

警察・NTT・郵便局の区間は、この機会に側道をなくして乗入れを作ることが可能だと思う。個人商店が多いところは、乗入れが多くできることになる。そうすると「並木」でなくなってしまう。

極力側道をなくし歩道を充実させてほしいが、税務署入口交差点から横山二丁目交差点までは出入り口がたくさんあるので、側道はそのまま残す方が良い。

郵便局の前の側道をなくすと、苦情が出るのではないか。駐車場が郵便局の車でいっぱいほとんど止められない。

こうやったら桜が何本切ることになり、こうやったら桜が何本植えられるということを示してほしい。

沿道利用を考慮しながら、できる限り側道をなくしていくことを目標に進めるのはどうか。今後は今回示した4つの方針（案）に基づき、具体的な案の作成に進んでいきたい。

3. その他

次回の日程：5月13日（火）午前10時（予定）

以上

市役所さくら通り（市道市役所前通）道路改良検討会
委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	伊藤 紀子	F . C ボランティア	代表	出席
2	浦上 裕史	西門地区商業地活性化協議会	会長	出席
3	佐々木 亮一	相模原市民まつり実行委員会	委員長	出席
4	重江 晶子	相模原警察署交通第一課	課長	出席
5	代田 昭	中央地区自治会連合会	会長	出席
6	竹田 幹夫	星が丘地区自治会連合会	会長	出席
7	内藤 研二	N P O 法人みどりのお医者さん	副理事長	出席
8	山田 利明	社団法人倫理研究所 家庭倫理の会相模原市		出席
9	横山 房男	相模原中央商店街協同組合	理事長	出席
10	匂末 敏男	相模原市役所都市建設局土木部	部長	出席